

メディカル・ツーリズム（医療観光）について

ソウル駐在員事務所

洪承元

近年韓国へのメディカル・ツーリズム^{注1)}が世界で脚光を浴びています。今までのメディカル・ツーリズムは女性のスキンケアや美容整形手術が主流でしたが、最近では最先端医療技術によるガン治療、脊椎治療など診療内容も多様化し、韓国伝統医学である韓方^{注2)}や健康食品療養に対する外国人の関心も次第に高まってきています。

保健福祉部の統計によると、韓国を訪れる医療観光客は2007年7,901人、2008年27,480人でした。しかし政府が2009年5月1日医療法を改正し、外国人患者を積極的に誘致する政策に転換したことで、医療観光客は2009年60,201人、2010年には81,789人を記録しました。特に2011年は中国からの医療観光客が増加し、当初の目標であった11万人を大幅に超え、13万人に達すると予測されています。

医療観光客の診療内訳をみると、内科、健康診断、皮膚科及び美容外科、韓方治療等が大半を占めており、医療観光客の国別では、アメリカ、中国、日本、ロシアの順になっています。また、昨年度の医療観光客1人当たりの平均診療費は131万ウォン（約91,700円）、入院患者の平均診療費は583万ウォン（約408,100円）と診療費も年々増加傾向にあります。

韓国へのメディカル・ツーリズムの魅力としては、先進国に比べ安価、高度な医療サービス、地理的利便性（主な医療観光客である中国、日本、極東アジア、モンゴル等から飛行時間3時間圏内にある）が挙げられており、今後韓国への外国人医療観光客は継続的に増加していくと予想されています。

しかしながら、メディカル・ツーリズムの誘致先進国として知られるシンガポール、タイ、インド等と競争していくためには、今以上に信頼できる医療技術の提供・最先端施設の充実はもちろん、専門医療観光コーディネーターの育成、長期医療患者用のメディカル・ビザ発給^{注3)}の簡素化、多様な観光関連商品の開発、積極的な広報活動が必要とされています。

今年10月釜山に国内初となるホスピタル（Hospital：病院とホテルが一体化）が誕生しました。また、ONE-STOPサービス（入国手続きからビザ申請、病院予約、医療相談まで代行）を提供する「釜山医療観光情報センター」も話題になっています。皆様も是非、韓国のメディカル・ツーリズムで心身ともに一味違った韓国旅行を楽しまれてはいかがでしょうか？



韓国観光公社内のメディカル・ツーリズム広報センター



案内パンフレット

注1) Medical Tourism：医療と観光が一体化した旅行サービス。

注2) 中国から伝わった伝統医療で、韓方薬、針治療、推拿療法などがある。

注3) 日本人は90日以内査証なしで渡韓可能。

為替 1ウォン=0.07円にて換算